

農作物技術情報 号外 台風対策

発行日 令和8年 9月17日

発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

台風 25 号が発生し、大雨・強風等による農作物への影響が懸念されます。
安全に十分に留意しながら、農作物被害を避けるための防止対策を適切に行ってください。

人命第一の観点から、ほ場の見回り等は、気象情報を十分に確認し、大雨や強風が収まるまでは行わないでください。

また、大雨等が収まった後の見回りにおいても、増水した水路やその他の危険な場所には近づかず、足もとなど、ほ場周辺の安全に十分に注意し、転落や滑落事故に遭わないよう慎重に行動してください。

水 稲

適期刈取りにつながる対策を！

県内の水稲は刈取り適期を迎え始めています。台風が通過する前に可能な限り刈取りを進めるとともに、通過後は速やかに作業を開始・再開できるよう、事前準備も含めた対策を徹底しましょう。

◎ 事前対策

（１）可能な限り刈取りを進める

刈取り適期（黄化籾80～90%）を迎えているところは、台風通過前にできる限り刈取りを済ませておきます。

（２）浸水・冠水に備えた排水設備の事前点検

水田の排水口・暗渠を確実に開放します。

排水路等にゴミや雑草などが詰まると、本田への浸水・冠水が起きやすくなります。水路のゴミ等はあらかじめ取り除いておきます。

◎ 事後対策

（１）浸水・冠水した場合は速やかに排水

長時間の冠水は玄米品質の低下につながります。特に倒伏したほ場では穂発芽を避けるため、速やかな排水が必要です。

（２）倒伏した場合は収穫時に刈分け

刈分けにより、土砂が付着した籾や穂発芽粒、青未熟粒などの被害粒の混入を防止します。

（３）退水後はほ場を点検しゴミ等を除去

河川水が流入したほ場では、流木やゴミ類が残っている場合があります、コンバイン等の機械に噛み込むと故障や事故につながるため、退水後のほ場点検を確実にを行います。

(4) 冠水したほ場で収穫する場合は作業機をこまめに清掃

穂に土砂などが付着すると、収穫・調製機械に負荷がかかるだけでなく、玄米の汚損につながる恐れがあるので、清掃は念入りに行います。

畑作物

排水対策を徹底し、湿害を防止！！

◎ 事前対策

(1) ほ場表面の排水を促すため周囲溝や排水口などを点検・補修し、**土壌表面水の速やかな排水**に努めます。

◎ 事後対策

大 豆

(1) ほ場にたまった水は直ちに排水し、長時間滞水しないように努めます。倒伏した株は莢が地面に接しないよう、隣接する株どうしで支えあうように持ち上げておきます。

小 麦

(1) は種作業は無理をせず、滞水や過湿状態が解消してから行います。

(2) ほ場が乾かずに、は種が遅くなる場合は、は種晩限から1週間遅れるごとに、は種量を1割ずつ増やし、目標出芽本数を確保できるよう努めます。

野 菜

排水対策と施設の保守点検を行い、通過後は草勢の早期回復を！

◎ 事前対策

【露地栽培】

(1) 大雨による浸入水を防止するため、ほ場の周囲にあらかじめ**排水溝を設置**します。

(2) 防風ネットを設置している場合は、強風に備え、ワイヤーや針金を張り直し、ネットの破損を補修します。

(3) 強風で、支柱が倒伏する恐れがあります。畝の両端や所々の**支柱を補強**します。また、支柱・ネット等への茎葉の誘引状況を点検し、しっかり固定します。

(4) 収穫可能なものはできるだけ**事前に収穫**します。

【施設栽培】

(1) 大雨による浸入水を防止するため、ハウス周囲にあらかじめ**排水溝を設置**します。

(2) 防風ネットを設置している場合は、強風に備え、ワイヤーや針金を張り直し、ネットの破損を補修します。

(3) パイプハウスの点検・補強

- ア 被覆資材（ビニール）の破損箇所を補修します。
- イ パッカーやスプリング等固定部品を点検します。
- ウ ハウスバンド（マイカー線）が切れたり、緩んだりしていないか確認し、補修や増設を行います。
- エ 骨組みの強度の弱いところは、筋かいを入れて補強します。
- オ 飛来物による被覆資材の損傷を防ぐため、**ハウス周辺の片付けや清掃**を行います。
- カ 風が強まってきたら、入口、サイド、天窓、妻窓を完全に閉め、入口は取っ手を固定します。開き戸では、風で開かないように杭で補助するなどしっかりと固定します。
- キ 施設を閉め切ることで、湿度が上昇して病害が発生しやすくなるので、**循環扇等で空気を攪拌して予防に努めます**。
- ク 換気扇が設置されている場合は、強風時にハウス内の気圧を下げるために**稼動**します。風が弱まったら直ちに停止します。

(4) 収穫可能なものはできるだけ**事前に**収穫します。

◎ 事後対策

【露地栽培】

(1) 排水対策等

ほ場にたまった水はただちに排水します。排水後、ほ場作業が可能になったら、①マルチ穴を広げ畝の**土壌を乾かす**、②畝間の中耕を行う等の対策を実施し、土壌中に空気を送って根の伸長を促進します。

(2) 殺菌剤散布、液肥の葉面散布

- ア 台風通過後は、冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害が発生しやすいので、品目ごとの農薬の使用基準に従って**殺菌剤を散布**し、病害の発生を未然に防ぎます。
- イ 茎葉に**泥土が付着している場合は**、動力噴霧機で水をかけ**洗い流した後、殺菌剤を散布**します。
- ウ きゅうりはべと病、トマトは灰色かび病、葉かび病、ピーマンは灰色かび病、斑点病、炭そ病、キャベツはべと病、レタスは腐敗病、褐斑病、べと病、ねぎはべと病、葉枯病の防除を行います。
- エ **草勢が低下した場合は**、必要に応じて**液肥を薄い濃度**で施用または**葉面散布**し、草勢回復を図ります。

(3) 整枝・摘葉・摘果

果菜類では、**傷んだ茎葉や果実**は摘除して草勢回復を図ります。

【施設栽培】

(1) 排水対策等

ハウス内に水が浸入した場合はただちに排水します。排水後、ほ場作業が可能になったら、マルチ穴を広げ畝の**土壌を乾かす**等の対策を実施し、土壌中に空気を送って根の伸長を促進します。

(2) 殺菌剤散布、液肥の葉面散布

- ア 強風でハウスビニールが破損し風雨にあたった場合などは、病害が発生しやすくなって

います。また、ハウスの閉め切りによって過湿が助長されるので、**換気を行い、湿度を下げます**。品目ごとの農薬の使用基準に従って**殺菌剤を散布**し、病害の発生を未然に防ぎます。

イ 茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機で水をかけて洗い流した後、殺菌剤を散布します。

ウ きゅうりはべと病、トマトは灰色かび病、葉かび病、ピーマンは灰色かび病、斑点病、ほうれんそうはべと病の防除を行います。

エ 草勢が低下した場合は、必要に応じて**液肥を薄い濃度で施用または葉面散布**し、草勢回復を図ります。

（３）整枝・摘葉・摘果

果菜類では、**傷んだ茎葉や果実は摘除**して草勢回復を図ります。

花 き

排水対策と風による倒伏対策を十分に！

◎ 事前対策

（１）**収穫期を迎えているほ場**では、開花状況にあわせて**早めに収穫**します。

（２）ほ場外からの侵水を防ぐため、**用水路の点検**を行い、**ゴミの除去**や**壊れた箇所**の補修を行います。また、増水によっていつも水が溢れる場所は、土のう等（肥料袋に土を入れたもので代用可能）で補強します。

（３）水のたまりやすい場所は、速やかに排水できるよう**事前に排水溝を設けておきます**。併せて、排水路を点検し、上述した用水路と同様の対策を講じます。

（４）**支柱やネットの強度を点検、補強**します。ぐらつく支柱は打ち直すか打ち込みし、風の影響を受けやすいほ場は支柱を増設します。ネットは適正な位置に調整し、たるみがある場合はネットの両サイドにロープを入れて補強します。

また、横木の設置、増設は、支柱・ネットの補強に有効です。

（５）**パイプハウス**は、ハウスバンド（マイカー線）が切れていないか、緩んでいないかを**点検**します。被覆資材の破損が拡大しないように、ビニールの小さな破れや傷の補修を行います。

また、風が強い場合は、施設を閉め切ることになりますが、湿度が上昇して灰色かび病などの病害が発生しやすくなるので**循環扇等で空気を攪拌**して予防に努めます。

◎ 事後対策

（１）**株の立て起こしや支柱・ネットの修復**

強風によって株が倒伏・傾倒した場合は、時間が経過するほど茎の曲がりに戻りにくくなるので、**風が弱まったら直ちに株を立て起こします**。併せて、支柱やネットを修復します。

（２）**ほ場の排水**

ほ場にたまった水は、**速やかに排水**します。特にキク類では、萎ちょう症状（水焼け）が発生しやすくなるので、長時間滞水しないよう努めます。

(3) 病害対策

ほ場の冠水や多湿、茎葉の損傷、泥の茎葉への跳ね上がりにより、病害が発生しやすくなります。品目ごとに農薬の使用基準や各地域の防除暦などに従って殺菌剤を散布します。

りんどうは、花腐菌核病や黒斑病、葉枯病に注意します。また、きく類は、白さび病の発生が助長されるので注意します。今年、新植したほ場や収穫が終わったほ場の防除も継続します。

薬剤散布は、株に付着した泥を洗い落とすため、動力噴霧機の圧力を高めにして十分量を散布します。併せて、施設栽培では換気を徹底し、施設内の湿度の低下を図ります。

(4) 被害株及び茎葉の除去

出荷不能となった株や折損した茎葉は、ほ場外に持ち出して処分します。

果 樹

暴風対策と被害軽減対策をしっかりと！

◎ 事前対策

りんご

- (1) 収穫期を迎えている品種は、果実品質と散布した農薬の使用基準（収穫前日数）を確認し、**収穫が可能なものは、速やかに収穫を進めます。**
- (2) 防風ネットを設置している園地では、**ネットの張りを点検**し、緩んでいるワイヤーは張り直し、破れたネットは張り替えるなど十分に効果が現れるよう準備します。
- (3) **わい性樹**は強風で倒伏することがあるので、**主幹を支柱に2～3ヵ所結束**します。長大な側枝を持つ樹形であれば、一層バランスを崩しやすいので、丈夫な支柱で支え、はずれないよう縛り固定します。
- (4) **高接ぎ樹**では大切な更新枝を保護するよう**添え木**をします。
- (5) 降雨による表面水を速やかに排水できるよう、**予め排水溝を設けておきます。**

ぶどう

- (1) **防風施設の設置、見直し**を行います。（りんごの項事前対策（2）に同じ）
- (2) **棚が倒壊しないよう**、棚内部の力線に補助支柱を配し、周囲柱、隅柱を**補強**しておきます。また、**雨よけハウス等は**、ハウスやフィルムが飛ばされないよう、ハウスバンドやフィルム留め具等の**点検**を行い、ビニールの破損があれば補修しておきます。
- (3) 降雨による裂果の発生や、土壌が軟弱化しアンカー等が浮き上がることを軽減するため、排水溝を切り、**速やかに排水**できるよう対処します。

◎ 事後対策

りんご、ぶどう

- (1) **落果の処理**

落下した果実は、出荷団体や農業共済組合等と協議のうえ、それぞれの用途に応じて**適正に**

処理します。

（２）倒木の処理

斜めに傾いたり、横になった樹体の立て直しは、できるだけ早く行います。ただし、そのまま不用意に引き起こすと、残っていた根も切ることがあるので、倒れた側からスコップで少し掘り下げるなど、注意深く戻します。また、すぐに起せない場合は、露出した根に土をかけるなどして乾かないようにします。

（３）病害予防

園地が冠水した場合や、枝葉や幹に無数の傷が生じている場合は、疫病など果実腐敗性の病害やふらん病などの樹体病害に感染する恐れがあります。このような場合は、定期防除を早めるか、特別散布で殺菌剤を全面散布し、感染を予防します。また、側枝や大きい結果母枝が折れた場合は、傷口をなめらかに切り、塗布剤を塗布します。

畜 産

停電時対応の確認、転作田の排水対策の徹底を！

◎ 事前対策

【ほ場・飼料】

- （１）ラップサイレージは、滞水しにくい、安定した場所に移動します。
- （２）紙袋の飼料は、雨が流入しない場所に移動するか、シートで被います。
- （３）電気柵を設置している場合は、浸水等による紛失、故障等を防ぐため、念のためパワーユニットを撤収します。
- （４）黄熟期に達した飼料用とうもろこしは、可能な限り収穫します。

【畜舎】

- （１）畜舎内に雨水が入らないよう施設の点検等を行います。
- （２）停電に備えて、発電機の準備・燃料の確保を行い、使用方法を確認しておきます。
- （３）飲水用・洗浄用水は、貯水タンクに確保し、配管の点検を行います。
- （４）紙袋の濃厚飼料等は、雨がかからない場所に移動するか、シートで被います。

◎ 事後対策

【ほ場・飼料】

- （１）ほ場が滞水した場合は、速やかに排水に努めます。
- （２）浸水したラップサイレージは、カビの発生などの変敗のおそれがあるので、給与を控えます。
- （３）とうもろこしが傾倒、倒伏した場合は、無理に引き起こすと折損等のおそれがあるので立ち上がりを待ちます。
- （４）傾倒したとうもろこしの収穫は、倒れた方向に対して斜め後ろから進入するなど茎葉を踏まないように、ハーベスタの速度を遅くして走行します。高刈りして土砂の混入を避けます。
- （５）倒伏などにより枯れあがりが進んだものは、切断面が粗くなりやすいので、詰込み密度を確保するため十分に踏圧します。不良発酵が懸念される場合は、ギ酸（急速に pH を低下させる）、乳酸菌製剤（乳酸発酵を促進）等の添加剤の使用を検討します。
- （６）倒伏・折損程度が著しく、登熟が進まない状態で収穫した場合は、給与前に、硝酸態窒素含

量が高くないことを**確認**します。

- (7) 減収が見込まれ、粗飼料が不足する場合は、**9～10月**の適期に**ライ麦**や**イタリアンライグラス**を播種して**来春の収穫**に努めます。

【畜舎】

- (1) 畜舎内が浸水した場合は、**排水**を徹底し排泄物や汚れた敷料を除去します。**牛床等**は、**水洗後に、消毒（消石灰や消毒剤の散布）**を行います。乾いた敷料の投入、送風・換気による**乾燥**に努めます。
- (2) 停電になった場合は、**通電後**に搾乳機器の**確認**を行います。また、給水・給餌機等の動作も確認します。
- (3) 停電で搾乳が大幅に遅れた場合は、前搾り乳の凝固物（ブツ）の有無を確認します。**乳房炎が疑われる場合はクォーターミルカー等で搾り分けするとともに、体調の変化も注視し、異常時は獣医師の診察を受けます。**